



福岡教育事務所・社会教育室

事業報告	令和6年度福岡教育事務所管内「地域活動指導員・子どもの体験活動研修会」
期日	令和6年10月10日(木) 13:30~16:30 (受付13:15~)
参加者	29名
日程	<p>(1) 受付 13:15~13:30</p> <p>(2) 開会行事 13:30~13:45</p> <p>(3) 説明 13:45~13:55 「本研修会の趣旨について」 福岡教育事務所 社会教育室 社会教育主事 矢野 貴士</p> <p>(4) 講話 13:55~14:35 「人権が尊重される活動の場をつくるために」 福岡教育事務所 人権・同和教育室 社会教育主事 森 沙織</p> <p>(5) 実践発表・質疑応答 14:35~15:25 「地域住民の主体性を引き出す活動のしかけ」 香春町まちづくり課 地域つながり係 村上 有希 氏 香春町採銅所地域コミュニティ協議会 事務局長 宮原 絵理 氏</p> <p>(6) 演習 15:25~16:25 「参加したくなる企画づくり！参画したくなる地域づくり！」 福岡教育事務所 社会教育室 社会教育主事 矢野 貴士</p> <p>(7) 閉会 ~16:30</p>
活動の実際	<p>「参加したくなる企画づくり！参画したくなる地域づくり！」をテーマに福岡教育事務所管内16市町の地域活動指導員をはじめ、青少年育成担当職員の方や、子どもの体験活動に関わる方(子ども会育成会・アンビシャス広場・公民館等)などが集いました。</p> <p>福岡教育事務所の社会教育主事より、体験活動の効果や子どもに関する体験活動の実態、本研修会の趣旨について説明を行いました。</p> <p>講話では、福岡教育事務所 人権・同和教育室の社会教育主事より「人権が尊重される活動の場をつ</p>



くるために」と題し、アンコンシャスバイアス（無意識の偏見、思い込み）や、マイクロアグレッション（小さな攻撃）等について、演習を交えながら体験的に学びました。

実践発表では、香春町まちづくり課 地域つながり係 村上 有希 氏、香春町採銅所地域コミュニティ協議会 事務局長 宮原 絵理 氏より、「地域住民の主体性を引き出す活動のしかけ」と題し、地域住民との対話を大切にされた地域づくりや、地域住民を巻き込み魅力的な企画や活動を生み出すひみつやしなかけ等についてご発表いただきました。



演習では、実践発表を受けて、地域づくりの視点を取り入れた目的を達成するための企画をグループで考えました。その際、企画の要素として、①巻き込む（人・団体）②活用する（もの・こと）③ワクワクするワードの3要素を出し合い、出した意見をもとに企画を考えました。短時間でしたが、多様な視点から活発な意見交流がなされ、グループメンバーの発想を活かした魅力的な企画づくりができました。



全体をとおして

参加者からは

- ・無意識の偏見や思い込みがあることを認識したうえで、伝え方の工夫や双方向的なコミュニケーションの大切さを認識できました。
- ・実践発表者ご本人たちが楽しまれていることがよく伝わってきました。地域の人は先生になれる、何も無いことはできない理由にならない、という言葉が印象に残りました。まだまだ枠にとらわれていたと反省したと同時に、市民の方々と共に創造力を膨らませ、対話を大事にしながら事業を考えていきたいです。
- ・企画する人が楽しいと思えるものと考えたらいろいろなアイデアが浮かび、グループ内で楽しく演習できました。普段は一人で企画を考えることが多いですが、本日の演習のように沢山のひとと話しながらすると自分にない考えを知ることができ、とてもよかったです。

等の感想がありました。

今後も楽しい学びになるような研修企画や管内の市町の実態に応じた支援に努めていきたいと思えます。

“鍛えて、ほめて、伸ばす！子どもの可能性”

～「鍛ほめ福岡メソッド」展開中！～

